

【Ⅰ 若者が主催】
劇団集合チキーン 事業詳細

事業名	演劇公演「冷凍室」		交付決定額	300,000円	
趣旨・目的	北九州市を拠点に活動する演劇団体「劇団集合チキーン」が、演劇に興味を持つ広い世代の人々と出会い、オーディションキャストと共に新作長編の演劇公演を実施するものです。この公演の目的として、①「北九州地域で活動する演劇関係者の人口を増やし、劇団の新規顧客を獲得する」、②「劇団の創作を客観的に見つめ直し、丁寧な創作を実施する」、③「若い世代に小劇場に来る／携わる機会を提供する」、④「安心して創作・観劇ができる環境をつくる」を掲げています。				
実施内容	演目・曲目等 (あらすじ)少し先の未来。地球が寒冷化して、「プチ氷河期」なんて囁かれる時代、人々はコールドスリープを活用するようになっていた。様々な理由でコールドスリープに入る人々だったが、解凍が十分安全に保障される二十年が凍眠期間の上限として法律で定められている。 間も無く、郡山家の祖母、らいむの解凍期限がやってくるのだ。二十年の冷凍期間を経て再始動する祖母、そして家族の面々。 過去の遺恨、家族の責任、そして寂しさ。 いろんなものが冷やされて、温められて、そうして家族はどこへ向かうのか――？				
	構成・出演者・主なスタッフ等 / 展示作品の種類・点数、主な作品名・出品者名等 作・演出:山口大器 出演:池高瑞穂(集合チキーン)、金丸奈央(福岡教育大学演劇部)、川部琉生(福岡教育大学演劇部)、木下遥斗(飛ぶ劇場)、竹森新紗、はまもとゆうか(月刊むりむりむ～)、平嶋晴美、平田伸介、樺山幸奏 舞台美術:森田正憲((株)F.G.S.)、照明:磯部友紀子((有)SAM)、音響:吉田めぐみ、稽古補佐:河東美玲 清水優里(産業医科大学演劇部)、吉住彩子、制作補佐:白川まひろ(飛ぶ劇場)				
実施日時	令和8年2月27日(金)19:00開演～ 令和8年3月1日(日)16:00開演	実施回数	5		
実施会場 (会場住所)	枝光本町商店街アイアンシアター (北九州市八幡東区枝光本町8-26)	参加人数	217		
実施の成果	助成金活用による工夫や実施の成果 本公演を通して達成したい目標として掲げた上記①～④について、「オーディションキャストとの創作」「プロのテクニカルスタッフへの依頼」「学生料金の設定」の大きく3点から成果があったと感じています。 「オーディションキャストとの創作」では、劇団として初めて出演者を公募しました。14名の応募があり、うち10名がこれまで劇団や所属メンバーとほとんど関わりのない方でした。さらに、応募者のうち7名は25歳以下の若い俳優で(そのうち5名を採用しました)、大学演劇部所属の方もいました。結果、劇団での創作を共にする中で北九州市での表現活動の一部を体験してもらえたと自負していますし、上演の際には、多くの大学演劇部生(出演者の関係者)が観劇に訪れ概ね満足していただきました(趣旨・目的の①、③)。さらに、劇団としてもこれまで一緒に過ごしたことがない俳優と創作することで、作家の意図しないセリフの言い回しや、解釈、ポジティブなものからネガティブなものまで創作する中でのフィードバックをいただき、作品にこれまでにない厚みが増えたと感じています(②)。また、オーディションキャストの紹介による観客の方には「劇団のファンになりました」といったコメントが多く見受けられ、継続して活動を行えば劇団のファンとなっただけの可能性を感じました(①)。オーディションキャストの皆さんにボランティアではなく、表現の対価として謝金を支払いながら創作できたことが、助成金活用の最大の効果だと感じています。 「プロのテクニカルスタッフへの依頼」によって、劇場に入ってから運営が格段にゆとりのあるものとなりました。小劇場での公演経験が浅いメンバーも多かったため、この安心とゆとりは創作への安全性に直結していたと振り返っています(②、④)また、3月1日14時30分開演の公演で、体調不良の方がいらっしゃり上演が一時中断する事態がありました。このときにプロのスタッフによる対応があったため、無事に上演を再開することができました(④)。また、緊急時対応について、劇団内でも対応を検討する必要性を感じ、これからの課題として振り返っています。 「学生料金の設定」について、大学演劇部、高校演劇部への案内を行い、大学演劇部生14名、高校演劇部生が4名の来場がありました(高校生については、卒業式と時期が重なっていたことがあり、想像していたよりも伸びませんでした。公演時期については課題が残りました)。特に大学演劇部については、終演後の挨拶で刺激になったようなことを伝えてくださり、部活からさらに幅を広げた表現活動につながる可能性を感じています(③)。				
	活動の様子				
					
最も注力した年齢層(計画)	18～39歳	参加者等の主な年齢層(実績)	18～39歳	40歳以上	12～17歳
(共催・後援・協賛関係機関がある場合)名称と役割	なし				
その他特記事項					